

お手入れ

警告



プラグを抜く

必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、製品が冷めてからおこなう

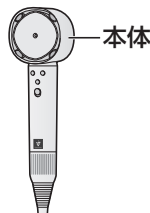
【感電・発火・やけど・けがの原因】

本体

お手入れ時期：汚れたら

表面を柔らかい布で拭く

本体にヘアケアローションなどが付着したままにしておくと、変色・割れの原因になります。



汚れが取れにくいときは、水または薄めた台所用合成洗剤(中性)で湿らせた布を固く絞り拭いてください。その後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。

本体のお手入れに次のものは使わないでください。

(表面の変色・ひびわれや、内部(精密部)に液が浸透すると故障の原因)



シンナー
ベンジン
アルコール



オープンクリーナー
クレンザー
漂白剤



柑橘類由来成分
含有洗剤
(リモネンなど)



住宅・家具用
合成洗剤
(アルカリ性)



スプレー式洗剤
金属タワシ

距離センサー部

お手入れ時期：1カ月に1回以上こまめに

綿棒※でほこりを取り除く

綿棒で凹部のほこりを軽く払う

※ベビー綿棒を推奨

(必ず新しい綿棒でお手入れしてください)

距離センサー部



警告



吹出口・吸込口から、ヘアピンや針金などの異物を入れない
【火災・感電・異常動作の原因】

お手入れ

警告



必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、製品が冷めてからおこなう

【感電・発火・やけど・けがの原因】

吸込口

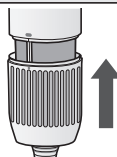
お手入れ時期：1カ月に1回以上こまめに

はずしかた

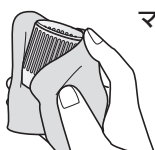


吸気力バーを引き下げて本体からはずす(マグネットで固定されています)

付けかた



吸気力バーを上引き上げ、印(●)が合うようにして本体に取り付ける(吸気力バーを付けた状態で回転させない)



吸気力バー



マグネット

吸気フィルター

乾いた柔らかい布で吸気力バー、吸気フィルターのほこりを取り除く(吸気力バー、吸気フィルターに力を加えずがないようにしてください)

ほこりが付着すると風量が落ちる原因になり、安全装置が働くことがあります。(安全装置がひんぱんに働くと故障の原因になる可能性があります)
ご使用前に、吸込口にほこりが付着していないか、確認してから運転することをおすすめします。ほこりが詰まった状態で使用を続けると、故障・破損の原因になる場合があります。
濡れた布で拭かないようにしてください。
フィルター目詰まりの原因になる場合があります。

プラズマクラスターイオン発生ユニット(電極部) お手入れ時期：2カ月に1回以上

ユニットは、お手入れするとくり返しお使いいただけます。

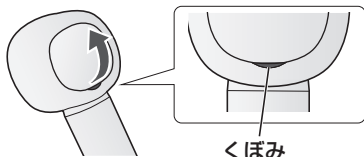
交換不要

1

電源プラグを抜く

2

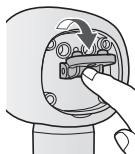
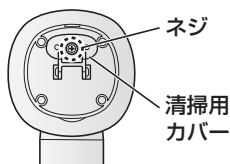
本製品背面にある外力バーを取りはずす



下部にあるくぼみから引き上げる
(はずれない場合は、ゼムクリップ等を使用して下さい)

3

清掃用カバーのネジをゆるめて清掃用カバーを開ける



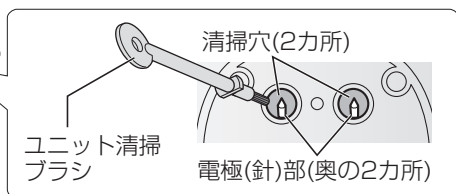
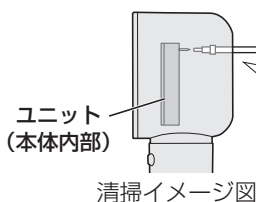
清掃用カバーを手前におろす

※プラスドライバーの
#1を使用

4

清掃穴(2カ所)にユニット清掃ブラシを差し込む

電極部(奥の2カ所)先端が手前側に向いているため、清掃ブラシを
上下左右に動かして、電極部(奥の2カ所)の汚れを取り除く



※電極(針)部の見え方はイラストと異なります。

5

清掃用カバーを戻し、ネジをしめる

※清掃用カバーをしっかりしめた状態でないと外カバーは取り付けられ
ません。

6

外カバーをしっかり取り付ける

ご注意

● 清掃用カバー周辺のネジ4本ははずさないでください。
(破損の原因)

● ユニットは取りはずすことはできません。

● 付属のユニット清掃ブラシ以外(綿棒など)を使用しないでください。
(故障の原因)

